

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.61 2025年4月15日発行
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
発行責任者 石本伸二

未来を作り出す力を育める社会をめざして 「奨学生成果報告会」を開催

3月2日(日)、新潟ユニゾンプラザの大研修室において「奨学生成果報告会」が102名の参加者で開催されました。

冒頭、新潟県奨学金ネットワークの江花代表から「誰もが等しく教育を受けられるようにすることは社会全体で取り組むべき問題です。今後も、経済状況に左右されることなく誰もが教育機会を平等に享受できる社会をめざして活動を進めていきます。」とのあいさつがあり、その後、奨学金問題の現状と課題を説明し共有をはかりました。来賓の花角県知事からは、奨学金問題に取り組む決意と奨学生に対しての激励のあいさつをいただきました。



第1部では、給付型奨学金を利用している10名の高校生が、現在の学生生活や将来の夢、支援への感謝などを発表しました。その後、新潟県労働金庫職員の渡辺さんが「全ての子どもたちが夢を追える社会へ」という研究報告を行いました。

第2部では、参加者を10のグループに分けて、発表を受けてのグループディスカッションを行いました。「奨学生の生の声を聞けて良かった。」「将来の夢に向かって努力をする姿に感動した。」「これからも応援したい。」などの意見が多く出ていました。

これからも、奨学金問題を広く社会にアピールするとともに、給付型奨学金の拡大や高等教育費の負担軽減を実現し、若者が未来に希望が持てる社会をめざします。



公益財団法人
新潟ろうきん福祉財団

(新潟ろうきんが設立した関係事業として設立した団体で、広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的に、NPOの団体等への助成金交付や福祉サービスの提供、学生への奨学金給付など、さまざまな事業を展開しています。)

2025年度 新潟ろうきん福祉財団 返済不要 高校奨学生募集!

高校生を対象とした給付型奨学金

《募集概要・応募手続き》

募集人数

原則として、応募資格の条件を満たす
応募者全員を採用

奨学金給付額

月額**1万円** 高校3年間の給付総額**36万円**

応募資格

- 新潟県民の子どもにして、新潟県内の高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、県内に本校やセンター等の拠点がある通信制高校を含む)に2025年度進学した生徒(新一年生のみ)で、経済的な事情により就学困難と認められる方。
- 家族収入・所得(以下「家族収入等」という)が以下の方。
 - 家族収入等が給与収入の場合………年間の収入金額が180万円以下
 - 家族収入等が事業・営業所得の場合………年間の所得金額が50万円以下※家族収入等は高校生本人の父兄の所得となります(親父兄などの収入等は含まれません)。※家族収入等の計算は給与収入または事業・営業所得となります(居住所得は含まれません)。

応募受付期間 **2025年6月16日(月)から7月15日(火)**

応募書類

- 奨学生推薦書推薦書(高等学校等からお送りください。協賛団体ホームページからもダウンロードできます。)
- 年間の給与収入、事業・営業所得の確定書類
 - 給与収入の場合………勤務先発行の令和6(2024)年分源泉徴収票(写で可)または市町村発行の令和6(2024)年分所得・課税証明書のいずれか
 - 事業・営業所得の場合………市町村発行の令和6(2024)年分所得・課税証明書

応募方法 必ず、在学する高等学校等を経由して申し込みください。

お問い合わせ先
公益財団法人
新潟ろうきん福祉財団
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 2階 新潟県労働者福祉協議会

TEL:025(288)5273
FAX:025(288)5274

詳しくは協賛団体ホームページをご覧ください
URL: <http://www.zaizen-hokushi.or.jp>

第3回地方労福協会議 (中央労福協主催)

2月28日(金)第3回地方労福協会議が、石川県金沢市ANAクラウンプラザホテルにて開催され、全国47の地方労福協の役員が参加し、新潟県からは石本専務が参加しました。

今回は、参加費は中央労福協が負担し、これに相当する額の一部を能登半島地震や奥能登豪雨の被災地支援に寄付金として活用することとしました。

会議では中央労福協より①2025年度活動計画、②年間スケジュールの説明を受け、安心して働き暮らせる社会をめざして各種取り組みを進めることを意思統一しました。その後、石川県生活協同組合連合会大谷代表理事か

ら「能登半島地震におけるコープいしかわの取り組み」という被災現場における体験からくる示唆に富む講演をいただきました。

その後、グループワークを実施して全国福祉強化キャンペーン活動総括などの意見交換を行いました。



東部ブロック第246回幹事会報告

3月17日(月)、東部ブロック労福協第246回幹事会が新潟東映ホテルにおいて、18名の参加で開催されました。



東部ブロック林会長、新潟県労福協牧野理事長の挨拶の後、中央労福協・南部事務局長から当面の取り組み

について(新たな運動の展開と組織運営、奨学金等)の説明がされました。

協議事項では、①2025年度の日程、②第16期福祉リーダー塾について、③諸会議の内容について協議しました。各県報告においては、創意工夫して労福協活動の推進に向け活動が行われている実践報告がありました。

新潟県労福協からは、県知事要請、勤労者駅伝大会、高校奨学金成果報告会の取り組みなどの報告を行いました。

2025国際協同組合年 新潟県実行委員会 発足式

2月3日(月)、新潟市のJ A新潟ビルにて2025国際協同組合年新潟県実行委員会(IYC2025新潟)の発足式が開催され、約50名が参加しました。発足式では、IYC2025新潟の構成、事業計画などを決定したほか、アントニオ・グテーレス国連事務総長のメッセージ動画と全国実行委員長山野徹代表・土屋敏夫副代表による周知活動動画を視聴しました。また、日本協同組合連携機構(JCA)佐藤渉業務執行理事より「国際協同組合年の取り組みと目指すもの」についての説明をいただきました。事業計画では7月7日に記念講演会の開催や、「協同組合まつり」における地域へのPR、IYC2025新潟としての事業認定・後援などの実施を予定しています。

今後も、国連が定めた国際協同組合年を契機に、協同組合の意義や価値を広く呼びかけ、協同組合の価値を高めるため、取り組みを進めてまいります。



第8回地区労福協事務局長会議

3月21日(金) 第8回地区労福協事務局長会議を勤労福祉会館で開催しました。

会議には9地区の事務局長、県労福協、連合新潟、新潟ろうきん福祉財団の役員16名が参加し、牧野理事長から地区労福協活動の重要性について挨拶がありました。

会議では、一年間の活動の評価・反省と次年度の活動計画を報告するとともに、今後の地区労福協活動の充実強化に向け、より具体的な活動を進めるための意見交換を行いました。各地区とも創意工夫を凝らした様々な活動を今後も充実させて、労福協の認知度を高めてくとの決意が述べられました。

県ライフサポートセンターの事業については、全県的に相談者の掘り起しに向けた取り組みの意思統一を行いました。

今後もすべての働く人の幸せと豊かさをめざす労福

協活動に自信と誇りをもって、地域に根差した活動をNPO、市民団体、行政等と連携して取り組んでいくことを、会議参加者全員で確認しました。

皆さまの地区労福協活動へのご理解とご協力、積極的なご参加をお願いいたします。



日本難病・疾病団体協議会(JPA) 国会請願署名活動報告【10,218筆集約】

県労福協は、すべての人間の尊厳が何よりも大切にされる社会の実現に向け、患者とその家族への支援として、2025年の難病国会請願署名活動に協力することとしました。取り組み4年目となった署名活動は、4月7日現在、10,218筆を集約することができました。(昨年、13,476筆)

前年の「2024取組」実績を見ても、全国36万筆超のう

ち新潟県労福協で1万筆を超える署名をいただき、新潟の助け合う気持ちの強さと取り組みの定着を改めて感じています。関係各位の協力に深く感謝申し上げます。要請事項が早期に解決できるよう、今後もJPAと連携して活動を進めます。

2025年は国際協同組合年です 協同組合はよりよい社会を築きます

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年(International Year of Cooperatives: IYC)に決めました。

労福協の会員団体である「ろうきん」「こくみん共済

coop」「コープデリ」も協同組合です。協同組合の意義を再認識するとともに、広く社会に発信をしていく1年にしていきましょう。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

地区労福協からのたより



長岡地区

安心・共生の福祉社会をめざして — 7つの講座を開催 —

長岡地区では「ながおかワーク&ライフセミナー」を、11月から3月にかけて7つの講座で開催しました。認知症やひきこもり、女性への暴力などの社会問題に取り組む人たちの生の声を聴くことで気づきや理解が深まり、映画を観たり、ピアノを聴いて感性を磨いたり、多くのすばらしい体験をすることができました。活動を通じて多くのNPOや市民団体の皆さまとつながれたことも大きな成果となりました。

講座内容

第1講座 映画「こどもかいぎ」上映と能登半島被災地支援報告

映画から対話の大切さと本質とは何かを教わりました。後半では能登半島地震の被災地への出張子ども食堂の報告を受けました。

と き：11月2日(土) 10時から

ところ：長岡市立中央図書館 講堂

開催団体：長岡こども・地域食堂ネットワーク

第2講座 誰もが安心して認知症になれるまちながおかを目指した認知症講座

認知症のサポート講座や仕事と介護の両立などの講演を聞いて、認識を深めました。

と き：11月23日(土) 14時から

ところ：アオーレ長岡 市民協働ルーム第2・3

開催団体：ながおか認知症の人と笑顔でい隊

第3講座 ひきこもりふぉーらむ

ひきこもり対策を支援している様々な団体からの提起を受けて、ひきこもり支援の現状と課題を学びました。

と き：12月14日(土) 13時30分から

ところ：長岡市立中央図書館 講堂

開催団体：認定特定非営利活動法人UNE

第4講座 映画「土を喰らう十二月」上映

沢田研二さんが主演の映画を鑑賞し、食べることの大切さ、食物への感謝を感じるとともに、舞台となった長野県の四季の風景の美しさに感銘を受けました。

と き：1月16日(木) 15時から

ところ：アオーレ長岡 市民交流ホールA

開催団体：長岡アジア映画祭実行委員会

第5講座 “暴力被害女性と生き難さを抱えた若者たちへの支援を続けて” ～いろいろな形の相談と居場所作りの実践から～

NPO法人「ハーティー仙台」の八幡悦子さんの講演を聞いて、DV被害等の支援活動についての認識を深めました。

と き：2月1日(土) 14時から

ところ：長岡市立劇場 大会議室

開催団体：NPO法人女のスペース・ながおか

第6講座 「可能性を支援するということ」

～映画「Voice～あなたの声が聞きたい」
上映とシンポジウム～

障がいのある方の雇用促進と社会参加を目指す就労継続支援A型事業を行っている「コロンブ株式会社」の企画で、「voice～あなたの声がききたい」という映画鑑賞と地域若者サポートステーションの業務内容や障がい者雇用の実例などを学びました。

と き：2月15日(土) 13時30分～

ところ：社会福祉センタートモシア多目的ホール

開催団体：コロンブ株式会社

第7講座 平林弓奈ピアノリサイタル

高校卒業後、フランスへ渡り、パリで演奏活動を展開し、数々のピアノコンクールで入賞した平林弓奈さんのすばらしい演奏で至福の時間を堪能しました。

と き：3月22日(土) 14時～

ところ：ホテルニューオータニ長岡NCホール

開催団体：長岡フランス音楽の会

上越地区

新年、1月10日(金) ホテルハイマートにおいて、上越地区労福協主催の「2025年新春交歓会」をご来賓18名を含め、120名の参加を頂き、賑々しくも盛況に開催しました。ご来賓の石本専務、梅谷衆議院議員、小田上越副市長、西澤妙高副市長、本山上越商工会議所副会頭より新春のご挨拶をいただきました。続いて、上越地区退職者連合小日向会長の乾杯から、労働組合・労働金庫・こくみん共済coop・退職者連合はもとより、各級議員や行政関係者、地元NPO団体の皆様との交流を深めながら、新春の集いを終えました。

当日は、「能登半島北部豪雨災害支援カンパ」復興支援カンパを行い、25,198円の義援金が集まりました。

ご協力に感謝申し上げます。



柏崎地区

2025新春賀詞交歓会

2025年1月10日(金) 柏崎地区労福協2025新春賀詞交歓会を開催しました。

来賓の県労福協佐藤事務局長からは「労福協活動は、地域の福祉の向上を求めている。その為にも地域のNPO団体や、行政との連携も望まれている。」



とのご挨拶をいただき、柏崎市柴野副市長からは「高齢化に伴う介護問題は避けられない課題だ。市は長期計画の中で、ワークライフバランスの課題として取り組んでいる。労福協からはセミナーの開催など、市民のための活動をしていただいている」等々、ご挨拶をいただきました。

アトラクションは、NPO法人aisaの増田さんの司会で、柏崎地元の企業が開発した、「越後バナーナなど、地元の気になる名産品ゲット抽選会」です。

これも佐藤事務局長、柴野副市長を始めとする来賓の方々に、番号札を引くなどのご協力をいただき、会を盛り上げていただきました。

閉会は、降雪も止んだ頃で、久しぶりの2次会日和となりました。

降雪を懸念しつつの賀詞交歓会でしたが総勢60名の参加でした。

糸魚川地区

2025新春交歓会

糸魚川地区労福協は、1月10日(金) ヒスイ王国館において「2025年新春交歓会」にご来賓5名を含めた67名の参加をいただき盛況に開催しました。

田村会長の年頭の挨拶に続き、ご来賓の江口県労福協事務局長、井川糸魚川副市長、梅谷衆議院議員より新春のご挨拶をいただきました。

鏡開きの後、田中糸魚川市議会議員の乾杯にて懇親会が始まり、アトラクションでは「TAIKO Musician 松本 悠斗LIVE」によるオリジナリティ溢れる和太鼓演奏を楽しむことができました。松本悠斗氏は2歳の頃から和太鼓に出会い地元太鼓団体

を中心に活動を始め、現在では和太鼓のみならずロックバンドやブラスバンド、その他にも様々な民族音楽を経験するなど多様な楽器、音楽性に触れコラボレーションにも取り組んでいます。

その後、お楽しみ抽選会を行い、交流を深めながら山田副会長の締めで終了し新春の慶びを共有することができました。



新潟地区

2025年 新春の集いを盛大に開催

2025年1月23日(木)18時30分より新潟東映ホテルに於きまして、「2025年 新潟地区労福協 新春の集い」を開催しました。



総勢150名の参加のもと盛大に開催することができました。会には、新潟県労福協の牧野理事長・連合新潟

の小林会長並びに新潟市小野経済部長をはじめ、多数のご来賓の皆さまからご臨席をいただきました。

途中のアトラクションでは、新潟大学アカペラサークル「MUSE」よりアカペラを2曲披露していただき、学生のさわやかな歌声が会場を包みました。

宴会では互いに活発な交流が図られ、楽しく有意義な会となりました。

新潟市中原市長へ要請行動実施

新潟地区労福協では、2月5日(水)14時30分より

新潟市役所本庁において、新潟市中原市長に対して労働者福祉に関する要請行動を行いました。丸山会長より「すべての働く人の幸せと豊かさを目指して連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を目指す労福協の取り組み方針に理解をいただき対応願いたいとの挨拶がなされ、続いて大岩事務局長より、①東日本大震災・能登半島地震の被災者・避難者支援について②格差貧困社会の是正・セーフティネットの強化について③奨学金制度の拡充・改善と教育費の負担軽減について④フードバンク活動の促進について⑤労働者協同組合法の施行の運用について⑥困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に伴う対応についての全6項目について説明され、要請書を中原市長へ提出しました。中原市長からは、各項目に対して見解が示され、とりわけ能登半島地震に伴う新潟市西区を中心とした被災地の復旧事業の進捗について丁寧な説明がなされました。



新潟ろうきん夢咲Clubは
〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が
〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです!

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
 加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。※入会金や会費は必要ありません

ご加入
いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と
会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
 TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp> 新潟ろうきん夢咲Club 検索

co-op
コオペデリ

コープデリにいがた

「あなたらしさ」が選べる生協、 コープデリです。

コープデリは、関東・信越1都7県で335万以上の世帯にご登録いただいている、日本最大の生協です。
たくさんの宅配サービスや生協があるなかで支持されている理由はきっと、それぞれの“ぴったり”が見つかるから。
原料へのこだわり、価格帯、家族の人数、etc… どんなニーズもおまかせください。

コープデリなら、つかうほどじぶんらしくなれるあれこれが
選べる、見つかる。



コープデリが大切にしている6つのこと



豊かで楽しい
食卓へ。

ふだんのくらしに必要な
商品を提供し、
毎日のくらしに貢献します。



安心して
家族へ。

提供する全ての食品の
安全性の確保に
取り組みます。



声を
かたちに。

組合員さんの声を
大切にしたコープ商品を
開発・提供します。



つながり、
育む。

生産者と組合員さんを
つなぐ「産直」に
取り組みます。



「食べる」を
伝える。

食育「たべる、たいせつ」を
通じて食による健康な暮らしを
提案していきます。



未来に
つなげる。

環境にやさしい
事業とくらしを目指します。

ご加入手続きは
簡単！

今すぐ! Webでお申し込み

コープデリ 加入

検索



こちらからも
アクセスできます

乗
せて
夢
まで

U-30
応援!

マイカーローン
金利引下げキャンペーン

ミライ

実施期間

2025年2/1(土)~12/30(火)まで

対象者

期間中にマイカーローンを
新規お申込みまたは、ご契約いただいた

30歳以下の方

キャンペーン金利

最下限金利適用

※正式申込時点で30歳の方は、ご契約時に31歳を迎えてもキャンペーン金利を適用します。
※実施期間前に正式申込し、ご契約が2026年1月以降となる方も対象となる場合がございます。
詳しくは店頭へお問い合わせください。

最新の金利やキャンペーンの詳細は
ホームページからご確認ください



新潟ろうきん

新潟ろうきん

検索

連合・教育文化協会共催 第22回

「私の提言」募集

募集テーマ
働くことを軸とする安心社会
-まもる・つなぐ・創り出す-の実現に向けて
連合・労働組合が今取り組むべきこと

今年は ILEC30周年記念
組合特別賞
あります!

優秀賞 副賞
20万円

詳細は
教育文化協会
ホームページを
ご覧ください

組合の
取り組みを
伝えたい!

地域をさらに
活性化したい!

希望をもって
働ける社会に
してほしい!

安心して働ける
職場環境に
したい!

すべての働く仲間が安心して働き、暮らすことのできる社会の実現に向けて働くことの周辺で起こっている困りごとや、その解決のために労働組合に何をしてほしいか、希望あふれる未来にいくために、労働組合やそのナショナルセンター(全国組織)である連合の役割とは何か、具体的なご意見をお待ちしています。また、今回は、教育文化協会の設立30周年記念として、「組合特別賞」を設けます。所属組織が取り組んでいる有意義な活動や働く現場の課題意識なども、この機会にぜひお寄せください。

日本労働組合総連合会(連合)
連合(日本労働組合総連合会)1989年に結成された日本の労働組合の全国中央組織(ナショナル・センター)です。
約700万人の仲間が加盟しており、すべての働く人たちのために、雇用とくらしを守る取り組みを進めています。
<https://www.jtuc-rengo.or.jp>

ILEC30 公益社団法人 教育文化協会
教育文化協会は連合とその構成組織等によって設立されました。
教育・文化事業を通して働く仲間とその家族を応援しています。
<https://rengo-ilec.or.jp>

応募資格

どなたでも応募いただけます

- 学生の方、一般の方など、どなたからの応募も歓迎します。組合員、組合役員、組合OB・OGももちろん応募できます。
- 共同での執筆によるご応募も歓迎します。

応募締切

2025年7月22日(火)

結果発表

2025年10月1日(水)[予定]

表彰

優秀賞 [1篇 / 表彰盾と副賞]	20万円
佳作賞 [若干篇 / 賞状と副賞]	10万円
ILEC30周年記念・組合特別賞 [賞状と副賞]	5万円
奨励賞 [若干篇 / 賞状と副賞]	3万円
学生特別賞 [1篇 / 賞状と副賞]	12万円
奨学金1万円 × 12ヶ月	

☆連合第19回定期大会(2025年10月8日)で表彰予定。
 ☆学生特別賞は、2025年9月時点で、大学院・大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・専修学校、各種学校など、各学校に在籍している方が対象となります。
 ☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者および審査対象外となった方を除く)。

お問い合わせは
こちらまで

第22回「私の提言」募集係

E-Mail: info-ilec@sv.rengo-net.or.jp
 電話: 03-5295-5421
 F A X: 03-5295-5422

2025年4月 商品改定

さらに
安い!

くるまの補償点検

キャンペーン

公式キャラクター
ピットくん

マイカー共済

自動車総合補償共済

1524Z017

2025年 期間限定
2月1日(土)~4月30日(水)

こくみん共済 NEWS
coop

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

期間中に共済ショップまたは所属団体を通じて……

マイカー共済に新規加入
または車両補償付帯された方へ

オリジナル
ドライブセット
プレゼント!

マイカー共済のお見積もりをいただいた方へ

非常用防寒ブランケット
またはカークリーナー
プレゼント!

※いずれか1つをお選びいただきます。

さらに! 公式アプリを導入
いただいた方へ

ご当地ピットくん
スマホ
スタンド
プレゼント!

※画像はイメージです。※在庫状況によっては、他のノベルティをお渡しする場合がございます。

就任のごあいさつ



皆さま、はじめまして。
4月1日からこくみん共済coop から出向してまいりました、田中和恵と申します。

この間、たすけあいの生協として労働組合や地域の組合員の万一に備える共済事業に携わってきました。特に労働者福祉事業の原点でもある火災共済を通じ全国各地で発生している災害で被災された組合

員の生活を守る事業に携わり、みんなでたすけあうことにより誰かの万一に備える共済事業は働く人、生活する人には欠かせないものと実感しております。

今、物価高がとまらず、働く人、生活する人が困窮している中で、勤労者福祉の取り組みを一層増進していくためには何が必要かを考える良い機会だと感じております。

不安でいっぱいですが、微力ながら精いっぱい努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高等教育費負担軽減に向けた団体賛同・個人署名へのご協力ありがとうございました。

昨年から取り組んだ高等教育費の負担軽減に向けた団体賛同・個人署名を2月18日に文部科学省へ提出し、要請を行いました。

団体賛同は3,486団体、個人署名33,163筆となりました。これまでのご協力に心から感謝を申し上げます。今後も、誰もが安心して学べる社会や高等教育費の漸進的無償化の実現をめざして、取り組みを継続してまいりますので、ご協力をお願いいたします。



2024年度調査・研究報告書を発刊しました。

あしたへ—格差と貧困のない人間らしい生活と労働をめざして

労福協では毎年新潟県から助成を受けて調査・研究事業を行っています。

2024年度は「格差や貧困をなくす働きかたと社会の課題」に関する調査研究として低賃金と短時間雇用労働者の増加と働き方と日本社会の課題を考えると題した報告書を公益社団法人新潟県自治研究センターに委託をしました。

格差と貧困が広がる現状を分析し、非正規化がも

たらした影響や、労働者減少時代の雇用のあり方、労働組合の取り組みとめざすべき社会などの提言を行っており、大変貴重な報告書となっております。

新潟県労福協のホームページから閲覧可能ですので、ぜひ活動の参考にしたいと思っています。

閲覧はこちら ▶



今後の日程

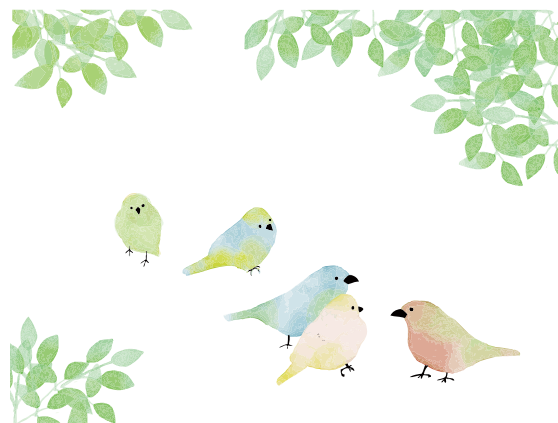
4月	17日(木)	消費生活ネットワーク理事会 (coop会館)
	22日(火)	こくみん共済 coop 新潟推進本部代表委員会 (coop会館)
	24日(木)	新潟市PS第1回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	26日(土)	第96回新潟県中央メーデー (新潟市中央区)
5月	15日(木)	新潟県労福協第38回チャリティーゴルフ大会 (フォレストカントリー倶楽部)
	16日(金)	定期監事監査 (勤労福祉会館)
	22日(木)	新潟県労福協第151回理事会 (勤労福祉会館)
	29日(木)	新潟市PS第2回支援調整会議 (勤労福祉会館)
6月	6日(金)～7日(土)	中央労福協全国研究集会 (富山県)
	10日(火)	新潟県日口親善協会総会 (新潟東映ホテル)
	12日(木)～13日(金)	東部ブロック福祉リーダー塾 (静岡県三島市)
	16日(月)	こくみん共済 coop 新潟推進本部代表委員会 (coop会館)
	18日(水)	新潟県労福協第48回定時総会 (新潟東映ホテル) 第152回理事会
	20日(金)	新潟県日韓親善協会総会 (新潟東映ホテル)
	23日(月)	長岡地区労福協総会 (連合中越地協事務所)
	25日(水)	新潟県労働金庫第73回通常総会 (ANAクラウンプラザホテル新潟)
	26日(木)	新潟市PS第3回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	28日(土)	柏崎ワーク&ライフセミナー (柏崎市市民会館アルフォーレ)

第96回 新潟県中央メーデー

日時 4月26日(土) 13:30～

会場 万代島多目的広場 (大かま)

参加をお待ちしています！



編集後記

今回から紙面の構成を変更した。できるだけページを少なくしたいという思いがあった。ただ、思うようにページを少なくはできなかった。今後も改良を続けたい。読みづらいと思われる方もあると思うが、ご容赦願いたい。

今年は戦後80周年。実際に戦争を体験した人も少なくなっている。私たちは、決して戦争を忘れてはいけない。そして、今も終結が見えない多くの紛争にNOを突き付けるとともに、自分たちに何ができるのかを考え続けなければいけない。

例えば、戦争に加担をするような企業の商品などは買わない。戦禍に巻き込まれ懸命に生きようとしている人たちが作った生産物などを購入する。現地の状況に関心を持つことも重要だ。日本の戦争の歴史をしっかりと認識し、後世に伝えることも大切だ。戦後80周年をその契機としたい。

新年度がスタートした。労福協にも新しい事務局長が赴任した。新しい出会いや出来事が待っている。すべての皆さまにすばらしい出会いと幸福が訪れますように。
(新光町の疾風怒涛)